　　　　　　高等学校における生徒支援について

　　　　　　　　　～心の冒険教育を通した心の居場所づくり～

太平洋学園高等学校　　期限付講師　　森　浩二

　Ａ校には、人間関係に不安を感じ、個別の支援を必要とする生徒も数多く在籍しているが、しんどさをかかえながらも生徒たちは日々の学校生活に努力を続けている。

担任をはじめ、全教職員が個々の生徒支援を続けることで、小・中学校時代に不登校であった生徒が学校で活躍する場面が見られるようになった。さらに生徒同士がかかわり合う「仲間づくりの活動」を取り入れることで一層、自分自身を解放し、お互いの「壁」を下げることができるのではないかと考え、研究テーマを設定した。

　本研究では、心の冒険教育（PA）の活動を、教職員同士、定時制１年次生、通信制２年次生のそれぞれの集団で行うことで、参加者の不安感が払拭され、笑顔や気持ちの変化が生まれる居心地のよい集団になることを期待して活動した。

キーワード：心の冒険教育、PA、仲間づくりの活動、STAI（状態特性不安検査）